

< コロナ禍における私幼団体の実態調査 >

浜松 市

1. コロナ禍での行政とのやり取りがどの様に行われているか
コロナ禍について、市から直接の情報提供や指導はありませんが、小学校の休校措置等については公表前に情報を頂いてます。同時に私立幼稚園の休園状況についても知らせています。
2. 各政令市で感染者が出た時に、市がどこまで発表して、私幼団体がどこまで、どのように加盟園に伝えているか
市内の感染者については各園が市のHPにより情報を得ていますので特に当団体から加盟園にはお伝えはしていません。
3. 研修会をどの様に行っているか
市内の講師に依頼して実施。会場は密を避け、換気、手指消毒、マスク着用にて実施をしていますが、例年の半分以下の実施状況です。
4. 予算が執行できない状況でどのように処理する予定でいるか
市からの助成。委託事業については市と協議をして進めています。（子育てフェアについては、親子向けのWebコンテンツを作成予定）
そのほか研修については、研修資料などの購入に充当。永年勤続表彰式典については、式典は開催せず賞状と記念品は被表彰者にお渡ししました。
5. 就職に向けての学生とのつながりをどの様にとらえているか、また実行しているか
コロナ禍においては、就職フェアを4月→6月、採用審査会を6月→8月に実施しましたが首都圏等の学生の参加はなく参加人数は減少。養成校によって就職の決定時期にバラツキが見られます。次年度においては、LINE登録を促し、個々の学生と繋がることを模索しています。コロナ禍において養成校の教育体制に格差が生じ質の高い学生、あるいは現場が求める資質について養成校側が応えられない状況が見られます。学生と直接私幼団体がつながり、学生を育てるための研修を考えています。